

岩手県地域活性化協働プログラム NPO基盤強化プログラム一年間の活動報告

特定非営利活動法人いわて連携復興センター 大吹 哲也

一年間の振り返り

2012年

8/26 「連携とICT」 (盛岡)

9/27 「事業計画づくりと会議運営」 (釜石)



(対象)
中間支援NPO

2013年

1/21 「プレゼンテーション」 (一ノ関)

4/26 「Windows 8利活用」 (盛岡)

5/31 「NPOとブランディング」 (盛岡)



(対象)
中間支援NPO
岩手県内の非営利組織

8/26 「連携とICT」 （盛岡）

- ・ プログラム
 - ・ 現状分析（NPO組織の強みと弱み）
 - ・ 課題の明確化（強みを生かし弱みを克服する方法を考える）
 - ・ 課題解決のプロセスの明確化

昔と今の情報収集について考える

グループワーク

情報の活用について10年前と今を比較して何か気づきませんか？

視点	10年前	現在
連絡を取る方法・手段	テレビ、新聞、インターネット	インターネット、フェイスブック
情報収集・調べ物・調査方法・手段	本、新聞、雑誌、人から	インターネット、本、人から

All Rights Reserved, Copyright ©ナレッジネットワーク株式会社 2012

1

NPO組織の強みと弱みを考える(1)

各自で記入して、グループで話をしてみてください。

以下の観点で、皆さんの日頃のNPO活動においての情報の収集、仮説思考に関する強み【OK】と弱み【NG】を考えます。

情報の収集	OK	効率的に情報を収集するために工夫している点 1 効率よく情報を収集するために工夫している点 ○情報収集の手段、自分たちで集めた、 インターネット、フェイスブック、人から
	OK	効率よく情報を収集するために、工夫していることがあれば記入してください。
	NG	効率よく情報を収集するのに、阻害する要因があれば記入してください。
情報の共有	OK	NPOとしてのミッションやビジョンを共有するための情報共有を行うために工夫している点 1 共有している点 メンバー（強み、共有している）
	OK	メンバーの共感を生み出すような情報共有を行うために、工夫していることがあれば記入してください。
	NG	メンバーの共感を生み出すような情報共有を阻害する要因があれば記入してください。

OK → 1 効率よく情報を収集するために工夫している点
2 共感を生み出すような情報共有を行うために工夫している点

NG → 1 効率よく情報を収集するのを阻害する要因
2 共感を生み出すような情報共有を行うことを阻害する要因

All Rights Reserved, Copyright ©ナレッジネットワーク株式会社 2012

2

8/26 「連携とICT」 （盛岡）

学んだこと・見えてきたこと

- ・新しいコミュニティを作り出すためには、ITの活用は有効
- ・例えば井戸端会議。皆が集い皆が正しいと思う所に情報は有る。
- ・ITの活用により、より多くの人へコストをかけず情報を伝えることができる。
- ・講義と連動してリアルタイムで進むFacebook



Tomo Matsubara
森戸先生—
情報編集力の重要性。「納得解」を導き出すことができるリーダーへ！
いいね！・コメントする・投稿をフォロー・2012年8月26日 17:31、盛岡市付近
✓ 22人が表示済み



Tomo Matsubara
森戸先生—
NPOのみなさんは、そもそもどんな目的のために集まっていて、
社会の何の課題を解決したくて、どんな活動をしていきたいのか。
それを明確にして、情報発信の方針や戦略を決めたうえで、
上手に情報発信していこう。
いいね！・コメントする・投稿をフォロー・2012年8月26日 17:10
✓ 22人が表示済み



森戸 裕一

課題を克服するための対応策(1) グループワーク

グループで各課題で課題となっている要因を出し合います。（問題のものはまとめます）
課題として考えられる各要素について、どうすれば、その課題要因を取り除くことができるか、他のやり
方は考えられないか、グループで話し合い、対策を記入します。

課題となる活動を防げる関連要素	考えられる対応策
例：課題の発生要因（課題発生を防ぐこと）を把握する要因	例：課題の発生要因（課題発生を防ぐこと）を把握する要因
例：課題の発生要因（課題発生を防ぐこと）を把握する要因	例：課題の発生要因（課題発生を防ぐこと）を把握する要因

9/27「事業計画づくりと会議運営」 （釜石）

・プログラム

長期事業計画作成

電子ドキュメントをネットで共有し、作成プロセスに職員の皆様を巻き込む過程を紹介

NPOとIT

ICTを利活用した効果的な会議運営方法について提案します。

NPOの経営資源について考えてみよう！



<NPOの経営資源>

- ① ヒト
- ② モノ
- ③ お金
- ④ 情報 （情報活用支援：今回の支援策）
- ⑤ ノウハウ
- ⑥ 人脈 （ネットワーク構築：前回の講義）
- ⑦ ミッション（目的、情熱）

これらの経営資源を見直し事業計画を立てる。

NPOの事業計画を書く前のチェックポイント



- 1. 自分たちの現状を把握できているか？
- 2. 日常的に情報収集を行っているか？
- 3. ひとりよがりで考えていませんか？
- 4. ネットワークを活用しているか？
- 5. 日常的に情報発信を行っているか？

9/27 「事業計画づくりと会議運営」 （釜石）

学んだこと・見えてきたこと

- ・ 会議を行う際には、あらかじめ「議題」「会議の目的・ゴール」「事前に必要な情報」等を記載し、共有しておく。
- ・ 会議内容を決められたテンプレートに書き込んでいくことで、決まった事・責任者も明確になる。
- ・ 議事録は、あらかじめ作っておく（意見が異なる部分だけを協議する）



1/21 「プレゼンテーション」 (一ノ関)

・プログラム ～NPO活動などでのプレゼンテーション～ プレゼンテーションの準備～実践

資料作成における考え方

どのように見せたいか？
+
プレゼンテーション当日の条件

資料は配布されるのか？

スライドを投影しながら
話すのか？

カラー？白黒？

サイズは？
配布のタイミング
は？

会場の広さは？
持ち時間は？

PCの操作をするの
は誰か？
映像は流せるか？

これらの情報から、伝える内容を資料と口頭でどう切り分けるか、
フォントや色使い、どのように視覚化するかなどが決まる

6

アイコンタクトのポイント

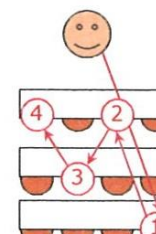
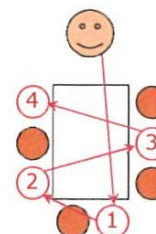
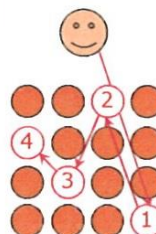
＞絶対に理解してほしいという箇所では必ず聞き手の目を見て話す

＞意思決定のポイントではキーパーソンの目を見て話す

＞スクリーン、ホワイトボードなど、注目してほしい箇所に自ら目を向けてから話す

視線の移し方

- ジグザグ、W型、M型に一番遠い人から視線を移動させる
- 漠然とみない、一人に絞って視線を合わせる



5

1/21 「プレゼンテーション」 （一ノ関）

学んだこと・見えてきたこと

- どのような聞き手があらかじめ分析する（準備）
- 見やすいフォントはゴシック系。使用色は3色以内に（準備）
- 視線の写し方。ジグザグ・W字型・M字型。
遠い人から視線を移動（実践）



4/26 「Windows 8利活用」 (盛岡)

・プログラム 最新のスレイト PC で Windows 8 を体験

(6) スナップ

最近使ったアプリの表示を活用して、2つのアプリを同時に表示させることができます。
これをスナップといいます。ここでは、写真を撮影した場所を、地図で確認してみます。



スライドやスワイプ、ピンチアウトを利用して、見たいところ（例では広島県の宮おきます。

スライドやスワイプ、ピンチアウトを利用して、見たいところ（例では広島県の宮島）を表示しておきます。



4/26 「Windows 8利活用」 （盛岡）

学んだこと・見えてきたこと

- ・ スマホを使う感覚で、直感的に操作ができることを体感！
- ・ タッチパネル式でないパソコンでの操作方法を会得できた。
これまでわからない部分の解消（個人的）



5/31 「NPOとブランディング」 (盛岡)

・プログラム

NPO団体の共感を得る力（マルチステイクホルダー連携）を固めていく上でのプロセスについて学ぶ

- ・アンケートの分類と集計ポイント
- ・プレスリリースの書き方、チラシの書き方、ポイントを押さえたレポート等

“伝わる”プレスリリースを作成する5つのキーワード

言いたいことが簡潔に伝わるものを心がける

明確

短い

簡潔

見てわかる

分厚い資料はNG、A4用紙1枚で！

4

アンケートを改善に活用する

アンケート実施の目的

イベントをよりよいものにするために、参加者の意見を集めたい。

●アンケート作成の視点

- ① 成功・失敗を判断する 企画内容に大きな変更が必要か？
- ② 満足した部分を知る 継続すべきところはどこか？
- ③ 不満な部分を知る 改めるべきところはどこか？
- ④ 効果的な集客方法を知る 広報の仕方は適切か？

17

5/31 「NPOとブランディング」 (盛岡)

学んだこと・見えてきたこと

- ・「個人情報取り扱いは十分注意します」のキーワードは効果大
- ・アンケートは、会議を区切って書いてもらえると多くが書いてくれる
- ・「その他」を選ぶ人が多いときは、選択肢の見直しが必要



取り組み実践例① 「NPOとブランディング」 より

6月5日、釜石市で行った、『平成25年度第一回地域活性化ミーティング』にて、プログラムの合間で区切り、アンケートの記入をお願い。



普段3割程度の回収率が、
約 5 割の回収率にUP！

取り組み実践例② 「NPOとブランディング」より

6月25日に開催されるイベントのチラシを講座でおしえていただいたことを参考に作成。

いわて三陸復興のかけ橋プロジェクト

情報発信 勉強会

～情報を広げるためにできること～

(釜石・大槌地区沿岸交流会)

被災地支援や、地域活動を行う上で、なぜ情報発信が必要なのか。ホームページの意味は？フェイスブックやツイッターは誰に向けて？日常的に行っている情報発信。その本当の必要性と、これからもっと情報を広げていく方法を学んでいきます。同時に、「いわて三陸復興のかけ橋プロジェクト」の取り組みと、プロジェクトで受けている様々な案件も提供させていただきます。外部からの支援情報の入手や、必要な支援を外部に発信できる貴重な機会と考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2013年6月25(火)

14:00～17:00

場所

岩手大学三陸復興推進機構
釜石サテライト セミナールーム
(釜石市大字平田第三地割75-1)

かけ橋プロジェクト3つの ミッション

①復興支援マッチング
しっかりといた体制で、県内外から復興支援提案や要請を受け止め、責任をもってコーディネートします。

②復興関連情報の発信
岩手の震災復興の「今」をきちんと情報収集し、情報発信の方法やルート等を気風して県内外へ情報を届けます。

③復興支援ネットワークの強化
様々な交流の機会を提供することを通じて、企業・団体間の「つながり」を強化します。

主催

岩手県
いわて未来づくり機構

運営

(公社) 助け合いジャパン
(特非) いわて連携復興センター

お問合せ

(公社) 助けあいジャパン
(盛岡事務所)
TEL: 080-3526-4189
担当: 新沼・瀬浪
MAIL: tjikakehashi@gmail.com

- ・ マイクロソフトさんのテンプレート使用。
- ・ だれでも修正できるようにパワーポイントで作成。
- ・ フォントは1種類で統一
- ・ 個人情報の取り扱いも記入

ご参加の方は下記ご記入の上、FAX:0197-72-6201 MAIL: tjikakehashi@gmail.comまでお送り下さい。
(いただいた情報は本事業以外には使用いたしません)

氏名	団体名
住所	
Mail	FAX

これからの私たち（中間支援NPO）の役割

- ・ 情報網の発達により、必要な情報が探せない・共有できない現実も。
情報量の多さ、スキルの差など・・・。



分かりやすく必要なところを加工して提供する必要

- ・ ICTを活用すればどう有効かが得られるのかイメージがつかない



実際にやってみて、成功事例を作り見せることが必要

最後に

この1年間、全5回の研修は、毎回何か自分のものになる、そんなわくわくする刺激のある講座でした。

復興支援には、ICTツールは欠かせません。しかし、効果的な使い方ができる、使いこなせるためには、まだまだ使える側からのアプローチが必要だと思います。中間支援のNPOがその使える側に立っているかということ、そこはまだ疑問符です。私たちもしっかりと地域で活動する団体のみなさんにノウハウを伝えられれるように、教えていただいたことを継続して活用していきたいと思います。

本当にどうもありがとうございました。